

米國の政策

三月四日、ワシントンとパインズ、米國海軍部は上院外交委員
 会に於いて、海軍を存続し、海軍の規模を古來の規模から縮減し、海
 軍の機軸を對する大の海軍の縮減を主張するものであると述べた。
 米國として、ワシントンとパインズは、この條約は一種決定に於いて、米國の
 海軍の縮減の條約であり、海軍の縮減の條約であるとして述べた。
 上院外交委員会は三月十日のイタリヤ條約に對する証言に
 於いて、ワシントンとパインズは、イタリヤ海軍の縮減を主張する
 こと、米國及び海軍の縮減の條約の縮減に對する決定としてこれを
 承認すること、イタリヤの海軍の縮減すること及びトリエスト
 をイタリヤへ與えることを主張した。海軍の縮減の條約は、イ
 タリヤ條約の縮減の條約であることを及びその代りにイタリヤとの
 海軍の縮減を了せしめるための中道地行政府の縮減を縮減することを

外務省

縮しイタリヤは米國海軍の保護が必要であると述べた。米、
 伊海軍部は海軍の縮減の條約、アントニエーはイタリヤ條約は、不当
 であり時代遅れであり、再考を進行すべきであると述べた。對
 イタリヤ正議事和解委員会は、エドワード・コルシイは
 この條約は海軍の縮減の條約である地帯を縮減するものであると述べた。
 これらに對して、外交委員長ヴァンデンハイダは「この條約
 が批准されれば、新しい自由をイタリヤの國民は、上院の海軍
 部において、米國が海軍と同情とを縮減すること、イタリヤ國民
 が最後まで米國に依存し得るといふ明らかを縮減を與えらる
 であらう。」と述べた。

ワシントン及びパインズは五月六日外交委員会は、再び
 証言を行い、共にワシントンとパインズはトルーマンの書簡を朗讀した。
 この書簡に於いて、トルーマンはこれらの條約の批准が米國の
 外交政策に對して、絶対必要であることを強調し、モスコイ會議

外務省

此の如くオーストリアに對する同盟が得られなかつたこと
 が、この同盟の成立に對する重大な障礙となつた。この
 イタリア同盟の成立に對する障礙を本同盟をなし得るといふ見
 解には反響をなすことを懸念した。マインツの議、イタリア同盟
 批准の通告は、トリュムストの議会の如く、同盟を更に困難をなし
 他の協約の進展を遅らせること、オーストリア同盟は、オーストリア
 の進歩を、協約の必要が懸念されること、協約の成立は、ギリシヤ、
 トルコ、波斯をむしり強めることを懸念した。マインツも、協
 約の進展は、米國がこれを見う、進歩を容れざるおぼやけは、ゆかをか
 つたことを再び証明して、進歩を、米國の必要を懸念した。

外務省

上院外交委員会は五月十日、公會一齊で批准を承認し、五月十
 五日次の日、議院を上に提出した。一平和協約は、戦争の終
 果生じた多くの協約、政治的及び軍事的問題を解決し、連合
 國と同盟國關係との將來に對する友好關係の基礎となるであ
 る。この協約を拒否することは、オーストリア及びドイツとの
 満足な平和協約完成の障礙を著しく作り出し、それによつて生ず
 る不安が、既にヨーロッパに存在する未解決の問題に關する
 らう。平和協約の締結は、これらの國家の國際連合への加入
 の必要を予備手段を維持することになる。これらの協約は、イ
 タリヤ、ブルガリアからの連合軍の進軍、ハイヌズ及びハンズ
 ーに對する占領軍の更迭、協約に必要を本草案での減少をもた
 らすであらう。占領軍の更迭を解除されたならば、これら
 國は、協約の再議という懸念を、協約に對する主たる反對理由は、

外務省

約共九十日以内、其の草案が通過するといふ規定に因するも
 のであつた。例へば、ドイツ、フランス、イタリア、
 はイタリヤ條約の批准を明年一月二十五日まで延期すること
 を主張し、條約の本質はイタリヤからの承認を承認する。こ
 れは共産主義者がイタリヤの支配を維持するに有利な條件と見
 出すであらう。」と述べ、タフト(共)は、「議決に因つては
 條約の批准を支持するが、占領軍の進出に因する困難には反對
 する。何とせよ、かかる行動は共産主義者の有利となるから
 である」と述べていた。議決は、六月五日行われたが、アン
 ンバイン、コナキ、陸軍員が「上院がイタリヤ批准を拒否すれば
 めて強硬な態度を採り、この場合こそイタリヤに共産主義
 の大規模な進出の道を開くことになり、米國の威信も失はれるこ
 とになる」と述べて、速かに批准の必要を強調した結果、全
 員五分の二以上の七九議決で、イタリヤの批准を拒否した。ト
 ール

外務省

大統領は、六月十四日此種の署名を拒絶したが、この種の声
 の中で次のことを述べた。
 「イタリヤ平和條約の一部の條項は我々の希望に完全な
 一致をいかに、しかし平和の再建は、強固な基礎を民主的イ
 タリヤを新に建設する基礎となるであらう。將來の強固な建
 築のわく内で必要を改訂せらるるの條項に対して懸念を
 とら必ずや可能と考へる。」
 フランスの批准
 フランス外交委員会は、六月十一日全會一致で國民議會に批
 准を提出し、國民議會は六月十三日五〇票で批准を可決
 した。
 その他の國の批准
 新聞電報で判明したところでは現在まで右以外に批准を完了
 したのは四月十一日に印度が七月二日にカナダが行つた。

外務省

米ソノヤ
ハソノヤ
ハソノヤ

米、海軍の此の事案了した後に、英海軍は海軍の増強
を西文海軍で行ふことを米、海、ソ連に要求した。これは
海軍の増強を促すものである。米、海はこれを拒絶し
た。米、海軍は海軍の増強を示してはなから、これら海軍
の増強の必要を認めない。海軍の増強は米、海、海軍とも
拒絶を示した。今日、ソ連の海軍が海軍の増強を要している。
一方、海軍は海軍の増強を以て、ソ連の海軍の増強に
六月二十七日海軍法議会に提出した。又、ソノヤ、ソ連海軍は
ハソノヤ、ソ連海軍の増強を行むたが、各定とも不滿意を示し
つゝ海軍の増強は反対している（六月二十四日、ソノヤと海
軍の間に）。米

外務省

海軍省の海軍の増強

海軍省の海軍の増強
海軍省の海軍の増強は一九四三年海軍法議会に提出され、海軍省の
増強に對して、イ、ソ連海軍の増強に對する海軍省の増強に對して、海軍省
二月一日、イ、ソ連海軍の増強に先立つて、海軍省の海軍の増強
海軍省の海軍の増強は、海軍省は、その増強の必要を多く
なつたから増強すると声明した。海軍省の海軍の増強は海軍省のイ
アレクシー・ストリンでもつたが、彼は今後、海軍省の海軍の増強によ
つて行はれることとなつた。
海軍省の海軍の増強は、海軍省の海軍の増強
海軍省の海軍の増強により、海軍省の海軍の増強は海軍省の海軍の増強
海軍省の海軍の増強に對して、六月十四日、海軍省の海軍の増強は海軍省の海軍の増強
定が同様にされた。

外務省

(一) 英領事は、日本領事館のイタリヤ領事館を訪問するが九
 十日以前に於けるは、手配を要する。
 (二) 英領事は、九月十日以前にイタリヤ領事館を訪問するが九
 十日以前に於けるは、手配を要する。
 (三) 英領事は、イタリヤの領事は、イタリヤ領事館を訪問して、英
 領事館に於けるは、手配を要する。
 (四) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。
 (五) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。
 (六) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。
 (七) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。
 (八) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。
 (九) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。
 (十) 英領事は、英領事館を訪問して、イタリヤ領事館に於けるは、手
 配を要する。

外務省

公定のスカーピン。ドル為替レートは二・九〇であるが
 ら、イタリヤは三千六百万ドル以上の利益を得たことである。
 これにより、従来スカーピンが地獄に凍結されていた三千二
 百万ポンドが世界のいかなる地域でも使用できることとなつ
 た。残りの一千万ポンドは引換とこの協定の保障のため英領
 政府の手許に於かれる（英米金融協定は七月十五日までか
 らる懸念を除去している）。
 (一) イタリヤは英領事館に対し、戦時中の英領事館によるイタリヤ軍艦へ
 の補給によつて生じた金融債務並びに鉄道及び他の設備のた
 めイタリヤに引渡された金融債務に対する金融債務の決済の
 ため総額八百万ポンドを支拂う。
 (二) 英領事は、イタリヤに於いて、ドイツから戦利品として捕獲し
 た物資に対する一切の権利を放棄する。
 (三) 英領事は、英領内にかけるイタリヤの資産凍結に關するイタリヤ

外務省